

# イサム ノグチ

世界と  
つながる  
彫刻

# 展

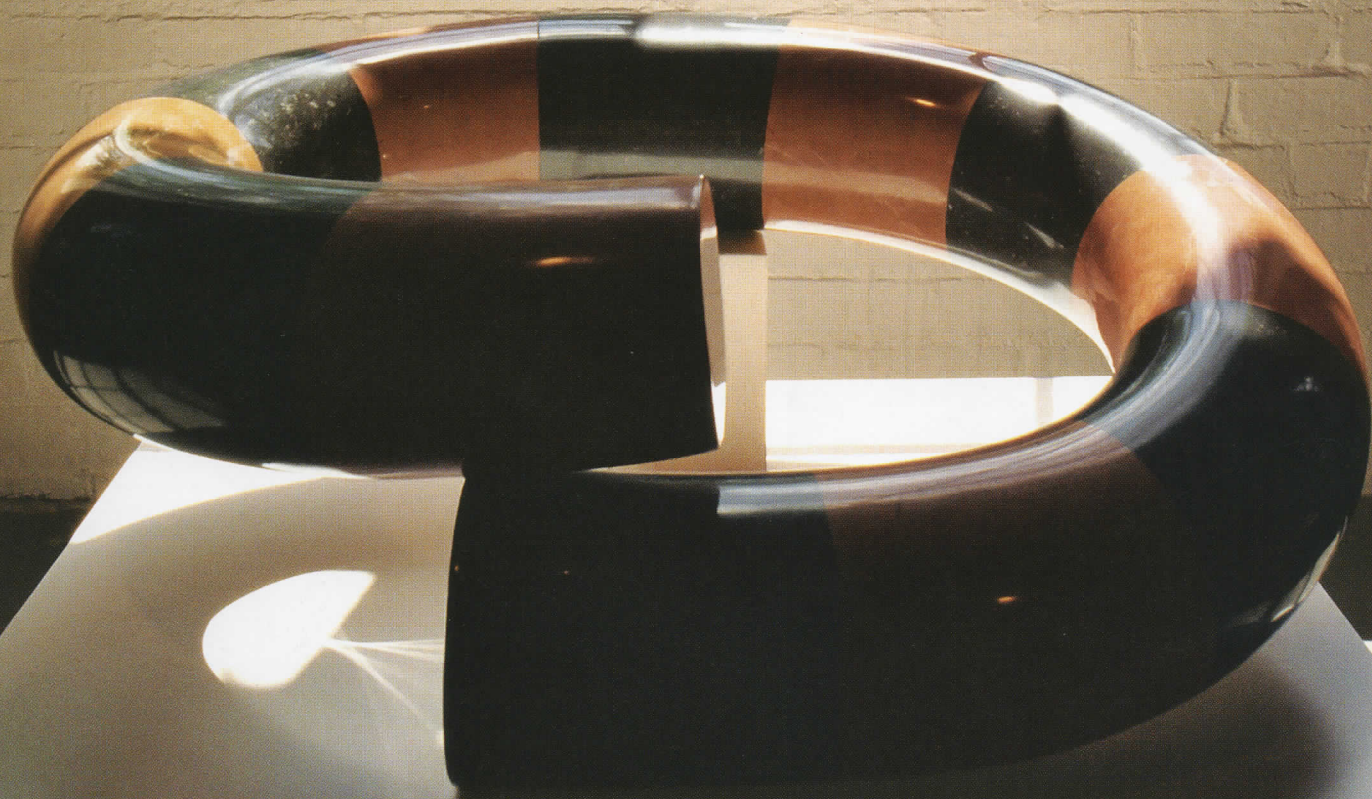
2006年9月29日(金) - 11月12日(日) 休館日 月曜日(ただし、10月9日(月・祝)は開館、翌10月10日(火)は休館) 開館時間 火～金曜日(9:30～19:00) / 土・日曜日・祝日(9:30～17:00) 入室はいずれも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式

入場料 一般 1,000円(800円) 高大生 500円(400円) 小中生 300円(240円) ●( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金 前売りは美術館1階受付にて開催前日まで販売 ●65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ●会期中の土曜日は小・中・高生入場無料  
主催 「イサム・ノグチ 世界とつながる彫刻展」実行委員会 / 高松市美術館 / 西日本放送 共催 **NHK** 高松放送局 特別協力 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum, NYC / 財団法人イサム・ノグチ日本財団、イサム・ノグチ庭園美術館 協力 **JAL** 日本航空 / hhstyle.com  
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel 087-823-1711 Fax 087-851-7250 ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>

新・高松市誕生記念

**高松市美術館**

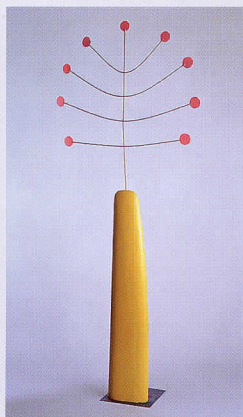
Takamatsu City Museum of Art







《真夜中の太陽》1989年  
赤と黒のスウェーデン産花崗岩  
220.5×199×119cm 横浜美術館蔵



マーサ・グラハムのダンス「暗い牧場」のための舞台装置  
《花咲く枝」とく歯》1946年  
針金、プラスチック、塗装された木、鉄板  
273×119.1×38cm  
マーサ・グラハム・センター・オヴ・コンテンポラリー・ダンス蔵  
photo by Kevin Noble



《かぶと》1952年  
陶 71.5×33×31.5cm  
草月会蔵(千葉市美術館寄託)



《クロノス》1948(1986)年  
ブロンズ  
215×57.5×88cm 静岡県立美術館蔵

《広島原爆死没者慰霊碑(1/5模型)》  
1952(1992)年  
玄武岩、ステンレス鋼、木製基壇  
80×149.9×49.5cm 広島市現代美術館蔵



《死(リンチされた人体)》1934年  
モネルメタル 226.7×111.8×55.9cm  
ノグチ・ミュージアム(ニューヨーク)蔵  
photo by Sarah Wells

# イサム・ノグチ 世界とつながる彫刻展

顔 / 神話・民族 / コミュニティーのために / 太陽

石や金属の彫刻をはじめ、家具・照明器具から公園まで、私たちの心をなごませたり、ワクワクさせたりする大小さまざまなものをつくったイサム・ノグチ(1904-1988)。日本人の父と米国人の母の間に生まれたノグチは、国籍や民族のちがいを越えて、人間の精神の根源にある共通分母を探し求め、それを現代に生かす造形を手がけました。

こうしたスケールの大きいノグチの仕事を、この展覧会では「世界とつながる彫刻」と名づけました。ノグチは一貫して「自分は彫刻家だ」と語っていました。彫刻は、家具にも照明にも公園にもなることができるし、だからこそ彫刻家は社会に大きく貢献できると確信していたのです。

今日、私たちは情報のやりとりには事欠なくなりましたが、その一方で、人びとが心から連帯し共感しあう機会や場は限られています。ばらばらになった人びとが再び集う場をつくること、宇宙的視点から世界の真の姿について共通の理解をうながすこと。ノグチはそうした芸術の課題に早くから気づき、生涯これに取り組んだのです。

展覧会の出品作約70点は「顔」、「神話・民族」、「コミュニティーのために」、「太陽」の四つのキーワードによって分類され、ノグチのイメージが鮮やかに立ち現れるよう展示されます。モダンダンスの先駆者、マーサ・グラハムのためのオリジナル舞台セット《暗い牧場》(1946年)を、初演当時の映像とともに日本で初めて展示します。

晩年、活動の拠点とし石彫の傑作を生み出した香川県牟礼のアトリエは、現在「イサム・ノグチ庭園美術館」として予約制で公開されています。地元にはゆかりの世界的彫刻家イサム・ノグチその人と芸術を親しく回顧し、彼の作品との対峙を心ゆくまでお楽しみください。

## 記念講演会「イサムの和・ノグチの洋」

日時:10月29日(日) 午後2時～

講師:松岡正剛氏(編集工学研究所所長・ISIS編集学校校長)

会場:当館1階講堂 聴講無料(先着200名)

## ワークショップ「イサム・ノグチを遊ぶ」

日時:10月15日(日) 午前10時～午後4時 講師:林幸稔氏(建築家) 会場:当館3階講座室  
対象:高校生以上20名/参加費:400円(材料費別途)/事前申込制

## 子ども向けのプログラム(応募方法・参加費などお問い合わせは美術館まで)

●まるごと探偵クラブ「イサム・ノグチ 探検記」10月21日(土)/午前10時～正午/小・中学生対象/無料(事前申込制)

●子どものアトリエ vol.11「イサムさんと遊ぼう!」講師:林幸稔氏(建築家)/10月22日(日)/小学低学年コース・小学高学年～中学生コース 各20名

## ギャラリートーク(観覧券が必要)

●当館学芸員が展示作品の解説をいたします。10月7日(土) 午後2時～。2階展示室にて

●美術館ボランティア「civi(シヴィ)」とともに鑑賞しませんか。毎日曜りと祝日の午前11時～と午後2時～の1日2回。2階展示室にて

## 次回展覧会予告

2006年11月23日(木・祝)～12月10日(日) 高松市美術館コレクション展Ⅰ

## お知らせ

イサム・ノグチ庭園美術館の見学は、往復葉書での予約制です。

見学希望の方は、下記まで詳細をお問い合わせください。

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3519 Tel:087-870-1500 Fax:087-845-0505



◆交通のご案内  
JR四国—JR高松駅下車、南へ徒歩15分  
ことんでん—瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分  
バス路線—(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩3分  
駐車場—美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

## 高松市美術館

Takamatsu City Museum of Art

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel:087-823-1711

※展示内容は都合により変更される場合があります。

© 2006 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum / ARS, New York / SPDA, Tokyo